

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援・放課後等デイサービスtoiro | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 3月 1日 | | 2025年 3月 29日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 23 | (回答者数) 20 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 3月 1日 | | 2025年 3月 29日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 29日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--------------------------------------|
| 1 | 環境設定が適切に行われている | 一日の活動を毎日職員全員で確認し、療育の漏れや配慮の漏れが内容に行っている。 | 保護者への定期的なヒヤリングを行い、要望と療育のずれが内容に行っていく。 |
| 2 | 児童のことを十分に理解している。 | 困りごとに応じて支援内容を変更している | 継続して行っていく。 |
| 3 | アセスメントや支援の説明を丁寧に行っている。連 | 連絡帳などを通じて濃い情報交換を行っている。 | 保護者の要望を聞き逃さないよう毎日確認する。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--------------------------------------|------------------------------|
| 1 | 保護者の要望を聞き逃さないよう毎日確認する。 | 日々話し合いや簡易的な研修は行っていたがあくまで最低下bbとなっていた。 | 1 内容の充実を図る。 |
| 2 | 地域交流の少なさ。 | 立地が子育て世代が少ないことが要因 | 外出支援を行い交流を能動的に行っていく。 |
| 3 | 父母会などの開催 | 多忙な方や家族上の理由で参加できない保護者がいる。 | 様々な方に参加してもらいやすいようなイベントを設定する。 |